

大阪読売健康保険組合 「レセプト等のデータ分析に基づいた保健事業の立ち上げ支援事業」における「先進的な保健事業の実証」に関する概要図

1. 事業実施に至る背景

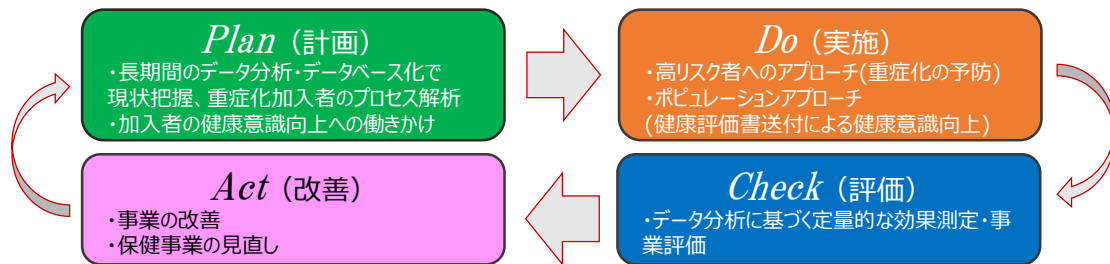
これまでの課題

- 加入者における課題
 - 業種的に昼夜を問わず多忙な仕事、不規則な生活
 - 健康に対する意識の低さ
- 健康保険組合における課題
 - 現状の未把握
 - 低い特定保健指導実施率(平成25年度で5.4%)
 - 実施のみにとどまる保健事業(ウォーキング、各スポーツ大会への協賛等)
 - マンパワーの不足

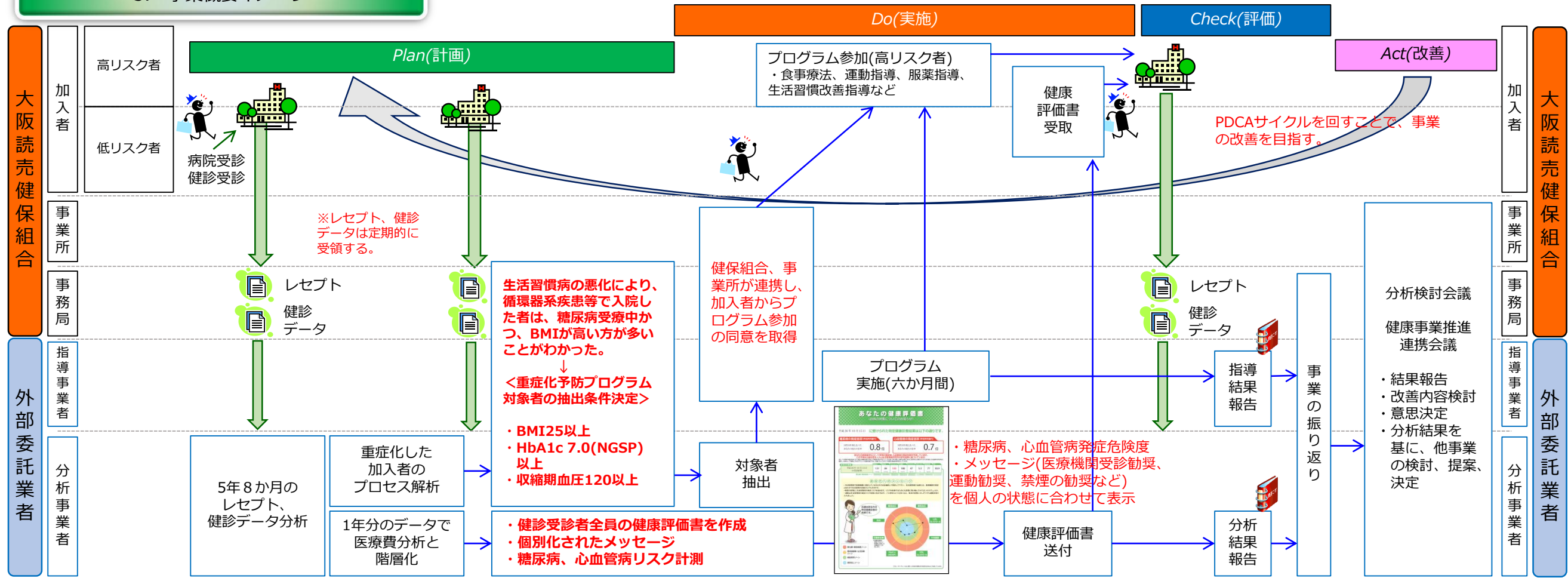
課題を受けたデータヘルス実施に向けて

- 仕事の性質上、生活が不規則になりがちな被保険者への「自身の健康状態把握、健康意識改善」の促し
- レセプト、健診データ等を活用した現状の把握
- マンパワー不足を解決するための、業務(分析、保健指導等)アウトソーシング
- 長期間のレセプト、健診データを活用した、重症化するプロセス解析

PDCAサイクルに基づくデータヘルス実施



3. 事業概要イメージ



2. 事業実施の目的

目的

- レセプト、健診データを活用した分析からの保健事業展開

